

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 8 月 2 日

事業所名

放課後等デイサービス IART

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		クールダウンの場所を設置している	手作りの場所なのでもう少し工夫を凝らした設置場所にしていきたい
	2	職員の配置数は適切である	6			利用人数の少ない時はみなみやJOBSで支援を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			保護者様の意見を把握し、今後の支援に役立てていく。MTGを行い共有していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			ホームページを活用し幅広い方々にみていただく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		年間予定を立て研修を実施している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			事業所内の担当者会議を行い個々の支援方法を共有していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		個々に対して一カ月、半年、一年の評価を実施し個々に合わせた支援を行う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			事業所内でMTGを行い個々の支援方法を共有していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			事業所内でMTGを行いアイデアを出し合い検討していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		担当職員を決め討議をしている	個々に合わせた課題を提供していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	打ち合わせができない時は次の日に行っている	反省点を話し合い、改善できる取り組みを行っていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		記録のチェックを毎日行う習慣を身に付けている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児発管や支援を行う職員が参加し情報共有を行う	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		学校や保護者と情報共有を行いながら毎日の確認を行っている	トラブル発生時には学校・保護者へ迅速に対応していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			新規利用前は担当者会議を行い情報を共有し利用者の計画を作成していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		地域の方々と関わる行事等を計画していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	送迎時や担当者会議で情報共有を行っている	送迎時や連絡帳、電話等でお子様の情報共有を行っていく
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時には保護者様へ事業所の説明を伝え安心して利用していただく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		対応や言葉遣いに十分配慮を行っていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		保護者様との交流の場所を設ける
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情や要望には迅速に丁寧な対応できるよう努めていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		文書や事業所の様子等を毎月配布している	
	35	個人情報に十分注意している	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		口頭や電話、連絡帳を活用し保護者の意向を伺っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0	6	各マニュアル作成は行っている	マニュアルを配布し、保護者への周知を行っている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			月に一回、年二回(消防署申請)の防災訓練を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		月に一回研修を行い虐待防止に努めている	虐待発生時には報告できる環境づくりを行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			児童へのヒアリングを行いアレルギーへの理解を得て対応していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット発生時は共有を行い再発防止に努めている	改善点・解決策を職員間で話し合い再発のない現場を目指していく